

教育と福祉の関係部局・機関の関係構築の場として、既存の会議を活用した事例及び学校と障害児通所支援事業所等との連携の実践事例①(徳島県)

取組概要

学校と事業所の連携を通じた、発達障害等のある児童生徒等一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援の充実を図ることを目的とし、以下の取組を実施。

- 徳島県藍住町全域の学校と放課後等デイサービス事業所の連携についての実態把握
 - 福祉連携校及び連携事業所の間で、個別の教育支援計画等の活用による効果的な情報共有の在り方を検討
 - 藍住町における学校と事業所の連携の拡大
- ※文部科学省委託事業:放課後等福祉連携支援事業(期間:平成28~29年度)

実態把握で確認できた連携の課題

情報交換の課題(アンケート調査)

定期的な会議開催の困難/地域、学校ごとの積極性の差/送迎時刻等の伝達不足、連絡帳等の活用

共通する指導目標が多い。(アンケート調査)

教科学習・学校の宿題/集団活動やルールの遵守/互いに個別の支援計画等について情報交換することは「ない」又は「少ない」

連絡を困難にする要因(聞き取り調査)

保護者の同意手続きが未確立/互いの連絡先、相手が不明

課題を克服するための実践

「顔の見える関係」構築

- ・既存の会議である「**藍住町特別支援地域連携協議会**」を活用し、従来の委員(医師、教育・福祉関係者)に**新たに町内の放課後等デイサービス事業所を追加**。
- 新規の会議体立ち上げの負担軽減

個別の支援計画等の交換の試行

- ・交換手順、保護者同意手続きについて試行を通して確認。担当者から事後レポートを回収。
- 共通の指導内容(教科学習・宿題、社会性の指導等)についての**連携の必要性を認識**できた。また、**それぞれの専門性による情報交換の可能性**を感じた。

連絡の円滑化

- ・学校と事業所との直接連絡の実践、担当者の事後レポート回収
- 学校から事業所への**送迎時の対応がスムーズ**になった。
- 円滑化の推進のため、保護者の許諾について、個別の教育支援計画等への位置づけ等の必要性が見えた。

【今後の取組】

- 協議会の運営や学校と事業所との連絡手段について、より簡易な実施方法を検討
- 学校と事業所間の一層の円滑な連絡を可能とするため、保護者の同意手続きについて検討 等

教育と福祉の関係部局・機関の関係構築の場として、既存の会議を活用した事例及び学校と障害児通所支援事業所等との連携の実践事例②(大阪府箕面市)

取組概要

学校と事業所との連携を促進し、特別支援学級在籍の児童生徒のより一層の支援の充実を図ることを目的とし、学校から放課後等デイサービス事業所へのスムーズな引継ぎ方法や連携体制を確立するための調査研究を行った。

※文部科学省委託事業:放課後等福祉連携支援事業(期間:平成28年度)

実態把握で確認できた連携の課題

情報交換の課題

学校が放課後等デイサービスについてあまり知らない現状/窓口となる担当者の連絡先が分からない

必要な引継ぎ事項

児童生徒の様子や健康面/宿題の有無/個別の教育支援計画/月間、年間予定表

統一的な連絡シート等

学校・事業所・保護者が共通で使える連絡手段の検討

課題を克服するための実践

情報共有

(担当者の情報共有)

- ・それぞれの窓口担当者を決める。また、連携の内容や方法、個別の教育支援計画(保護者同意を要する)、緊急時の対応など、事前に確認しておいた方がよい内容を記載した「連絡シート」を作成。

(日々の引継ぎ方法)

- ・特別支援学級の連絡ファイル(ノート)を活用して、関係者共有の連絡ノートを作成。
- ・送迎時に児童生徒の状況を引き継ぐ簡易メモを渡す。
- ・1日や1週間の児童生徒の様子(生活記録表)を家庭と学校と放課後等デイサービス事業所で記入し共有。
→互いの連絡先や担当者が明確になり、**連携がとりやすくなった**。また、保護者の意向を確認することができた。
→**双方の支援計画を参考に、同じ方向性を持って支援目標を立てることができた**。

連携体制の構築

- ・実践内容について、**既存の「箕面市支援連携協議会」**(学識経験者や医療、保健、労働などの関係機関、保護者の代表が**参加**)を活用し、有識者等から指導・助言を受けた。
- ・必要に応じて、ケース会議に事業所等が参加。
- ・実践内容を「支援保育・支援教育推進ハンドブック」及び報告書にまとめ、各学校等へ配布。
→**事業所等がケース会議に参加する事例が増えてきている**。
→ハンドブックの配布等で特別支援教育担当者等に**放課後等デイサービスの制度等について周知が図れた**。

【今後の取組】 ○引き続き、連携の在り方の検討及び学校に対して、放課後等デイサービスに関する周知に取り組む 等